

令和6年度

教科書調査研究報告書

中学校

技術家庭（家庭分野）

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	1～3年
6 教育図書	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	1～3年
9 開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	1～3年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるため、どのような工夫がされているか。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して解決する力を養うため、どのような工夫がされているか。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う内容が取り上げられているか。

2 組織・配列・分量

- (1) 小・中・高等学校の内容の系統性を重視して発展的に学習を進めるための工夫や、他教科とのつながりを意識した工夫がされているか。
- (2) 生徒が主体的に学習を進めるために、どのような工夫がされているか。

3 生徒の発達の段階への配慮

- (1) 日常生活や実生活との関連や生徒の発達の段階を考慮し、生徒が意欲的に取り組むために、どのように工夫されているか。
- (2) 事故防止や安全指導について、どのように配慮されているか。
- (3) 文章表現や用語、写真、挿絵、図表等は、生徒の興味・関心を喚起し、生徒の状況に応じた工夫がされているか。

別紙様式 2

種目名	技術・家庭 (家庭分野)
-----	--------------

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
2 東書	新編 新しい技 術・家庭科 家庭分野 自立と共生 を目指して	<p><内容></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、5大栄養素、食事摂取基準、6つの基礎食品群の順になっており、生徒が基礎的な知識を得るために適した順番となっている。また、6つの基礎食品群が見開きで掲載されており、群ごとの比較がしやすく、基礎的な理解を図ることができる。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「衣」について、手縫いの基礎は写真が見やすく、生徒の理解を促す。写真と見比べることで、個々の技能を自己評価できる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にある「生活の課題と実践」では、領域だけでなく、家庭分野の見方・考え方から生徒が課題を考えられるよう工夫されている。また、まとめと発表の仕方を多様に紹介することで、生徒が考察したことを論理的に表現できるよう工夫されている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「家族と住まい」の考えてみようでは、4人の核家族に新たに一人家族が増える設定として、乳児・高齢者に加えてホームステイに来た留学生とを選択肢として設定することで、各国の生活文化にも触れながら生徒が部屋割り等を考えることができる。 <p>(3) 各編の最後に学習のまとめが設けてあり、「生活に生かそう」として項目を立てることにより、生徒が自分事として考え、実践的な態度を養うことにつながる。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での学習内容とのかかわりが明示されており、系統的な学習を進めるための指針となっている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「衣」の、カラーコーディネートでは、色の組み合わせと衣服のイメージや、春や秋らしい色の具体的な組み合わせで生徒が発展的に学べるよう工夫されている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」における調理実習の例や、項目「衣」におけるミシンや手縫いの制作物の例など、たくさんの実習例が紹介されており、生徒の意欲を喚起する。 ・内容「A家族・家庭生活」の項目「幼児」について、幼児とのふれあい体験の具体例が写真でたくさん掲載されており、実習時にどのように自分から幼児に関わればよいかわかりやすい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「家族と住まい」で、思考ツールの具体的な使用例が示すことで、生徒が主体的に学習を進めることができる。
		<p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「センパイに聞こう」で、防災アプリの開発者の話を紹介することで、防災アプリの周知と興味関心に結びつき、生徒の持つ情報機器端末に防災アプリをダウンロードするきっかけにつながると考えられる。 ・内容「C消費生活と環境」の項目「消費生活」について、「契約の成立」において、消費者と業者側それぞれの「合意」「権利」「責任」について図入りで説明されることにより、生活の自立に必要な基礎的な理解を図ることができる。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、「実習例の紹介において、生徒の発達段階を考慮し、アルミホイル蒸しでのアルミホイルの巻き方など、文章で伝わりにくいものをイラストでわかりやすくするなどしている。 <p>（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全指導について巻頭にまとめてあり、扱いやすい。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、調理実習の衛生と安全対策が見開き１ページで掲載され、安全指導がしやすいような配慮がなされている。その中で、まな板の汚れは洗浄の大切さが視覚で理解できる。日光消毒までの写真があるとさらによい。 <p>（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「衣」について、「繊維の種類と着心地や手入れに関わる性質」の図が簡潔にまとまっており、製品としてのイメージがわかりやすい。
		<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭がガイダンス部分と成長部分に分かれており、発達段階に応じた３年間の指導計に則している。 ・漢字に読み仮名がふられており、どの分野も全学年で取り組めるよう工夫されている。 ・教科書全体が淡い色合いで目に優しいが、反面注目すべきポイントも目立ちにくくなっている。 ・個別最適な学び、共同的な学びにつながるよう、技能面で参考になるような動画等、二次元コードのコンテンツが用意されている。 ・写真、イラストは、男女の平等、高齢者や障害のある人、外国籍の人などに配慮されている。 ・１章家庭分野のガイダンスに、学習内容に沿った子供の生活チェックのできるグラフがあり、学習前と学習後の子供の変化を客観的に捉えることができる。

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
6 教図	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	<p><内容></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、5大栄養素、食事摂取基準、6つの基礎食品群の順になっており、生徒が基礎的な知識を得るために適した順番となっている。また、6つの基礎食品群が見開きで掲載されており、群ごとの比較がしやすく、基礎的な理解を図ることができる。 ・内容「A家族・家庭生活」の項目「家庭」について、「家族とのかかわり方」の学習では、具体例を挙げ、ロールプレイを通して解決策を見出していくスキル学習になっており、疑似体験することで技能を身に付けるよう工夫されている。 ・内容「C消費生活と環境」の項目「消費生活」について、「契約の成立」の説明で、消費者と業者側それぞれの「合意」「権利」「責任」について図入りで説明されることにより、生活の自立に必要な基礎的な理解を図ることができる。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「A家族・家庭生活」の項目「家庭」について、日常生活から問題を見出すために、時間の流れによる家族構成と住まい方の変化として生徒に意識させるための良い資料となっている。 ・各章にいくつかある「学びを生かそう」について、その中で学習したことをもとに、「まだ十分に理解できていないと感じたテーマ」「さらに学んでみたいテーマ」の選択肢が具体的に示されており、生徒が自らの課題に気づける助けとなっている。 ・巻頭に課題解決学習の流れが明記してあり、さらに、各章末に具体的な課題と追究、解決法の考え方が紹介してあり、学習の手助けとなっている。さらに記録レポート用紙がダウンロードできるようになっており、扱いやすい。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、資料で「子ども食堂」が取り上げられ、地域とのかかわりを食生活でも考えることができる。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「家族の生活と住まい方の例」の中に、ペットについてのイラストも記載されており、現代の家族のとらえ方としてよいと思う。

	<p><組織、配列、分量></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、食品の選択、購入、適切な保存方法、調理実習の流れで系統的な学習として工夫されている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「衣」について、衣服のコーディネートについて、色相環だけでなく、美術で取り扱われている明度と彩度についても取り上げ、組み合わせの多様さを示している。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「住まいの中で起こる事故」で、二次元コードの該当箇所のワークシートにおいて危険箇所をタップするとどう危険なのかが表示されるようになっており、生徒が自主的・主体的に学習できるように工夫されている。 <hr/> <p><児童の発達段階への配慮（表現）></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「調べてみよう」などで、具体的に例示し、日常生活と学習内容をつなげる工夫がされている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「住まいの防犯」として、二次元コードからのワークシートに、自宅の防犯チェックの視点と主な対策方法等が記載されていることにより、生徒が意欲的に取り組むための工夫となっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に実習での安全・衛生対策がまとめてあり、具体的に扱うページも明記してある。 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」について、「おもな繊維の種類と特徴」「おもな布の組織や用途」の写真が見やすく、イメージしやすい。また、動画「浴衣の着方」がわかりやすいため、子供が主体的に取り組みやすくなっている。 ・内容「A家族・家庭生活」の項目「幼児」について、幼児の体の発達と心の発達が見開きで文章と写真でまとめてあり、わかりやすい。 ・内容「C消費生活と環境」の項目「消費生活」について、「資料 クレジットカードの仕組みを知ろう」において、生徒になじみのあるSNSでのメッセージのやりとりのような形で説明がなされており、生徒の内容理解に結び付くよう工夫されている。 <hr/> <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容量が全体的に多い。具体的でくわしくはあるが、全部を扱いきれない。 ・体験的な学びをサポートするための二次元コードのワークシートや動画が豊富にある。 ・性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、本文やイラストに配慮している。 ・各章の扉に自立度チェックが掲載されており、学習前の子供たちの現状の客観的理解につながる。章末のまとめ等で自立度チェックにからめた振り返りができるとさらに良いと考える。 ・教科書のレイアウトとして、ページの最初にキーワードが記載されており、注目すべきところがわかりやすい。
--	---

種目名	技術・家庭（家庭分野）
-----	-------------

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果
略 称		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しとも に支えあう 生活へ	<p><内容></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自立」とは何かを考えるつくりになっている。その中で、自立と共生は表裏一体であること、多様な自立と共生の姿があることについて理解を図っている。以前の教科書にあった、自然との共生についても触れるとなおよい。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「食」について、使用されている身長の変化のグラフで、20歳までの折れ線グラフとなっているため、中学生の成長が著しい点が視覚的に理解しやすくなっている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「衣服の手入れ」の学習では、以前の教科書にはなかった「まつり縫い」の仕方の動画があり、縫い方の理解を深めるとともに、技能習得への手助けとなっている。 ・内容「B衣食住の生活」の項目「住まい」で「住まいは人権」と言われる理由として、世界人権宣言や子供の権利条約が取り上げられており、基本的な考え方の手助けとなっている。 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「消費生活・環境」の項目「金銭の管理と購入」では、導入で「スニーカーを購入する」という生活の具体的な場面を問題提起し、本文や豊富な資料を参考にして「購入時のポイント」などの基礎・基本を学び、生活の実践につなげるために、「どのスニーカーを選ぶか」話し合って結論を出す展開になっており、学習内容を生かして実生活での問題を解決する力をつける工夫がなされている。 ・教科書の巻末にある生活の課題と実践の進め方では、生徒が設定した課題の取り組み方を例示してあり、生徒が解決策を模索しやすいようにし、これからの生活を展望して解決する力を養えるよう工夫されている。 <p>(3) 巻末に、学習のまとめとして既習内容を基にした「生活の課題と実践」があり、たくさんの実践例や進め方が記載されているため、実践的な態度を養う手助けとなっている。</p> <p><組織、配列、分量></p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容「B衣食住の生活」の項目「住」の見開き1ページ目が日常と災害について考えられる写真となっており、生徒の思考の方向性をつけるのに有効である。 ・富士地区の特性として、重要なテーマである防災について、8ページにわたり事例を紹介しつつ生活を見直し改善できるよう工夫されている。また、在宅避難について明確に触れている教科書である

ため、富士地区の防災計画と照らし合わせて考えた場合、富士地区の子供たちにふさわしい教科書である。

・学習のまとめりごとに、導入となる問題提起の後、小学校で学習した内容が書かれていたり、見開きページ右上に他教科との関連事項が書かれていたりして、わかりやすい。また、「先輩からのエール」や参考資料で、将来への展望や地域社会へのつながりを意識した内容になっている。

(2)「やってみよう」「話し合ってみよう」として生活に基づく問題を提起したり、実習例をふんだんに記載したりすることで、生徒が関心を高め、主体的に取り組むよう工夫されている。

<児童の発達段階への配慮(表現)>

(1)

・多様な方々の体験談や考え方をすることで、初めて知る世界に触れたり、共感したり、自分日常生活との差異を見つけたりすることで、生徒が意欲的に取り組むことにつながっている。

・「自分らしさ」「多様性」「ウェルビーイング」など、自己肯定に関する資料を掲載したり、困ったときの解決策を提示したりしてあり、個々が安心して学習に取り組むことができたり、他者理解につながるよう工夫されている。

(2)

・調理実習の衛生と安全対策が見開き1ページで掲載され、安全指導がしやすいような配慮がなされている。

・内容「B衣食住の生活」の項目「布を用いた制作」では、用具の正しい使い方や安全な保管の仕方などが写真やイラストで丁寧に書かれており、生徒の理解の助けになっている。

・内容「A家族・家庭生活」の項目「ふれあい体験」では見開きで幼稚園の鳥瞰図があり、ふれあい体験前の事故防止指導に使い易い。

・内容「B衣食住の生活」の項目「生活行為と空間」について、江戸時代の長屋の様子を漫画で表現することで、生徒の興味・関心を喚起し、主体的に取り組めるよう工夫されている。

(3)

・内容「B衣食住の生活」の項目「食品と栄養」の、5大栄養素の種類とはたらきの表では、情報が整理され、生徒が理解しやすい工夫がされている。

・内容「B衣食住の生活」の項目「食事の役割」では、長時間食事をとらなかったときの状態などの具体的事例を示し、生徒が食事の役割に興味を抱きやすいようになっている。

・内容「B衣食住の生活」の項目「衣服の手入れ」の補修の技術習得用の「まつり縫い」の動画では、左利き用も用意されており、個に応じたものになっている。

<総評>

・基本的な見開きページのレイアウトが中心に文章、両端に資料が配置されるようになっており、生徒が見やすいものとなっている。

・教師用の1時間ごとにPowerPointや、それに対応したワークシートが用意されており、教師の授業づくりの参照や助けとなる。

・様々な年代や国籍、障害の有無、多様な性などが教科書全体で配慮されており、これからの社会に生きていく生徒本人はどう考え行動していくかを考えられるようになっている。